

中央線E233系



お客さまのご意見を取り入れました

中央快速線をご利用いただいているお客さまのご意見をいただき、デザインや車内設備に反映しました。

はがきアンケート調査

中央快速線のご利用者20,000名
(回収率44%)

グループインタビュー

中央線エリアのご利用者93名

インターネット調査

中央線エリアのご利用者約1,000名

車内調査

中央快速線の列車内

お客さまのご要望

- ・オレンジ色は中央線ブランド
- ・ステンレス車両への好感
- ・輸送障害の低減
- ・運行情報の提供
- ・ご高齢のお客さまや女性のお客さまの使いやすさに関するご要望
- ・車内の空気のきれいさへのご要望
- ・腰掛の改善のご要望

オレンジラインの車体

中央快速線をご利用いただいているお客さまに、長らく慣れ親しんでいただいた「オレンジ色」をステンレス車体のラインに採用し、「オレンジ≒中央線」のイメージを大切にしています。

故障に強い車面(輸送障害の低減)

電気機器や保安装置などの主要な機器を二重にし、ひとつが故障しても運転継続できるようにしました。

情報案内等の機能を向上した車面

情報案内装置の充実や幅広車体による混雑緩和でサービスを向上します。

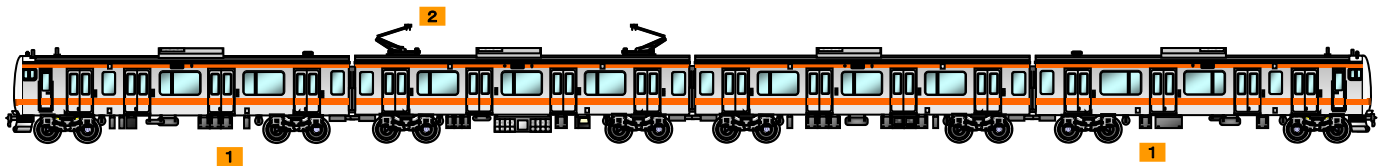
人に優しい車面

高齢者、女性、お身体の不自由なお客さまが使いやすいよう配慮しました。
また、空気清浄機の設置や、腰掛幅の拡大などにより、清潔で快適な車内環境の提供に努めます。

E233系



ステンレスの車体にさわやかなオレンジのラインで、中央線のイメージを表現しています。
前面は丸みをもたせてやさらかな印象としています。



故障に強い車両（輸送障害の低減）

【主要機器の二重系化等】

電気機器や保安装置など、主要な機器を二重系化し、1つが故障しても運転継続できるようにすることで、お客さまへの影響（輸送障害）を極力低減することを目指しています。

■列車情報制御装置（TIMS）

車両の制御情報を管理する装置の車両間の伝送路、演算部を二重系化しています。

■戸閉装置

一つの扉の制御装置が故障しても、ペアとなる隣の扉の制御装置がバックアップし、扉の開閉を制御します。

■保安装置（ATS-P）

制御装置は、1系が故障した場合、並列で動作している健全な系により動作を継続します。

■補助電源装置

パワーユニット、制御装置は、1系が故障した場合、待機しているもう1系が動作します。

1 ■空気圧縮機

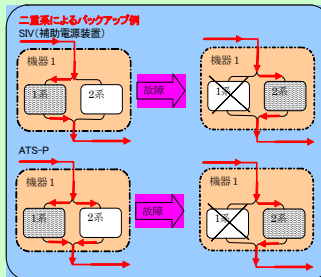
201系では、4両の編成は、空気圧縮機を1台しか搭載していませんでしたが、E233系では、すべての編成に2台以上搭載しました。

2 ■パンタグラフ

全ての編成に予備のパンタグラフを設置しました（通常は折りたたんで使用しない）。

■ブレーキ制御装置

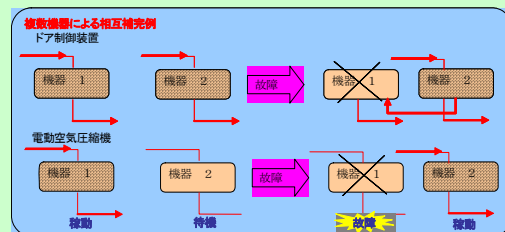
先頭車のブレーキ制御装置は、台車ごとに装備され、もしも衝突事故等に遭遇して、先頭台車のブレーキ制御装置が故障した場合でも、もう一方の台車のブレーキが使用できるように配慮しています。



二重系の系切替



予備パンタグラフがある車両



複数機器による相互補完

人に優しい車両(高齢者、女性、お身体の不自由なお客さまなどへの配慮)

【ユニバーサルデザイン・バリアフリー】

ユニバーサルデザインの積極採用や、バリアフリーの推進をはかって使いやすさを追求しました。

■優先席の荷棚、吊手高さ

優先席の荷棚、吊手の高さを他の箇所よりも50mm低くしています。

■優先席エリアの明確化

優先席のエリアは、仕切りや壁面、床など内装の色や吊手の色を一般座席部分と異なるものを採用し、優先席エリアであることを明確にしました。

■握り棒の追加

優先席では、どの席からでも握り棒が使用できるように追加しました。

■握り棒の形状変更

お子さまを含む、立っているお客さまにも、また、座っているお客さまが立つときにもつかまりやすいように、握り棒は湾曲した形としました。

■ホームと床面の段差の縮小

床面の高さを低くしてホームとの段差を縮小しました(201系と比較して50mm縮小)。また、出入口の床は黄色く目立つ色にしました。



優先席部



湾曲した握り棒



女性専用車

【女性専用車(朝時間帯・上り)への配慮】

朝時間帯の上り列車の1号車は女性専用車両としています。

■荷棚、吊手高さ

女性の身長を配慮して、1号車の荷棚、吊手の高さを他の車両よりも50mm低くしています。

【快適な車内空間の提供】

空調や座席の改良をおこない、快適な車内環境を提供します。

■空気清浄機

さわやかな車内空間を提供するため、空気清浄機を設置します。

■腰掛幅の拡大

腰掛はすわり心地を向上するとともに一人当たりのスペースを201系と比較して、30mm拡大しました。

(201系:430mm→E233系:460mm)



出入口の床を目立つ色に

情報案内等の機能を充実した車両

【情報案内の充実】

情報機器の進化に伴い、E233系の情報案内装置も充実し、お客さまへきめ細かな情報提供を行います。

■行先表示器

行先表示器は、前面、側面ともにフルカラーのLED表示器としました。列車種別の多い中央線では中央特快は青、青梅特快は緑など、列車種別ごとに色分けすることにより、お客さまが識別しやすいように配慮しています。

■VIS (Visual Information System) 装置

車内にはドア上に液晶画面を設置し、運行情報、ニュースなどを表示し、お客さまへの情報提供を充実します。

【拡幅車体の採用】

拡幅車体により約6%の定員増となります。

(201系:約1400人→E233系:約1480人)

■拡幅車体

拡幅車体の採用により、混雑を緩和します。

(201系:2800mm→E233系:2950mm)



VIS装置による情報提供



1234T 中央特快
1234T 青梅特快

前面行先表示

1234T 中央高尾
1234T 青梅



中央高尾
特快次は四ツ谷

側面行先表示

